FUJITSU

B7FH-5771-01 Z0-00

PRIMERGY TX150 S6

ラックマウント変換機構を選択された方へ

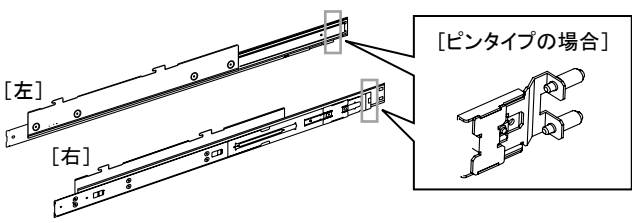
このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本紙をご覧になり、PRIMERGYを使用する準備を行ってください。

お買い上げの PRIMERGY TX150 S6 は、ラックに搭載して使用するラックタイプです。
本紙では、サーバをラックに搭載する方法について説明しています。
本紙をご覧になり、PRIMERGY TX150 S6 を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

1 ラックマウントキットの内容を確認する

本サーバには、 ラックに搭載するためのラックマウントキットが同梱されています。
最初に、 以下の部品がすべて揃っていることを確認してください。 万一、 欠品・不良品などがあった場合は、担当営業員にご連絡ください。

□ スライドレール× 1
（レールブラケットを含む）



本製品を購入された時期によっては、 スライドレールの形状が一部異なります。

□ M3 サラネジ× 4	□ M4 サラネジ× 4
□ M5 サラネジ× 4	□ ワッシャー× 4
□ M5 ラックナット× 4	□ TX150 S6 搭載用テンプレート
	□ タグラベル

2 サーバ本体をラックへ搭載する

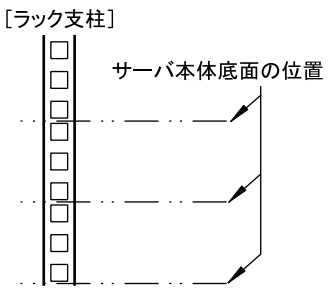
サーバ本体をラックへ搭載するまでの手順について説明します。
本手順内の左または右の向きは、 ラックを正面から見たときのものです。

- ラックは必ず固定し、 転倒防止用スタビライザを取り付けてください。 ラックの設置に関する詳細は、 ラックに添付のマニュアルを参照してください。
- サーバ本体の総重量は 28kg を超えますので、 運搬は必ず 2 人以上で行い、 サーバ本体の左右側面および底面を持ってください。

1 ラックのフロントドアとリアドアを開けます。

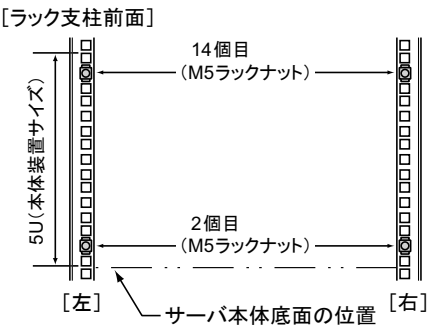
2 スライドレールと、ラックナットの取り付け位置を決めます。

ラック支柱の穴の間隔が狭い位置（下図を参照）のいずれかに、 サーバの底面がくるように合わせます。



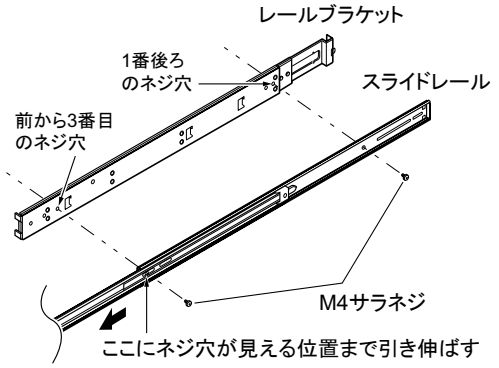
3 M5 ラックナットを取り付けます。

1 台の筐体につき 5U 使用します。 サーバ本体を取り付ける位置の下から 2 個目と 14 個目の位置に、 ラック支柱の内側からツメを上下に引っ掛けて取り付けます。同梱の TX150 S6 搭載用テンプレートを使用してください。



4 スライドレールにレールブラケットを取り付けます。

前面側のネジ穴が見える位置までスライドレールを引き伸ばし、レールブラケットを M4 サラネジ（2 本）で固定します。



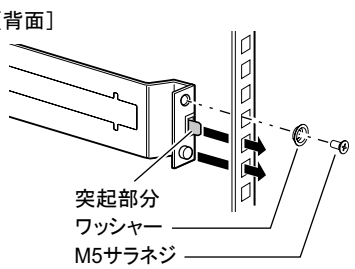
スライドレールがピンタイプの場合、スライドレールの突起部をレールブラケットの角穴に引っ掛けて、M4 サラネジ一箇所で固定します。

5 スライドレールをラックに取り付けます。

背面側から先に取り付けます。
背面側の取り付け穴（2 個目）にレールの突起部分を差し込み、ワッシャーと M5 サラネジで 3 個目の位置を固定してください。
スライドレール背面側が 2 箇所ともピンの場合は、ネジ止めは必要ありません。取り付け穴にピンを差し込んで固定してください。
背面側の取り付けが完了したら、前面側も同様に固定します。

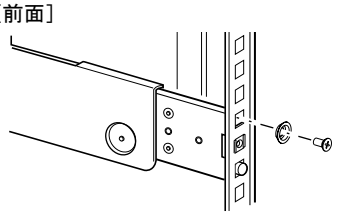
■左側レールの取り付け方法

［背面］



ピンが付いているレールの場合、取り付け穴にピンを差し込んでください。ネジ止めは不要です。

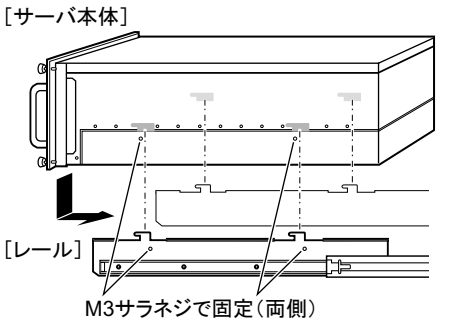
［前面］



スライドレールは左用と右用があります。スライドレールの外側にある「LEFT」または「RIGHT」の表示を確認したうえで取り付けてください。左用と右用を間違えて取り付けると、サーバを搭載できません。

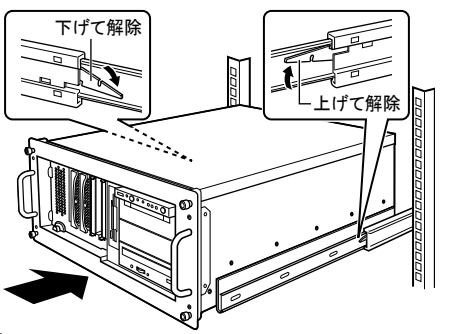
6 インナーレールを引き出し、サーバ本体を取り付けます。

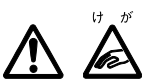
1. サーバ本体側面の取り付け溝にインナーレールの突起部分が収まるように、サーバ本体を上から差し込みます。
2. 取り付けたインナーレールのネジ穴とサーバ本体側面のネジ穴が合う位置まで、サーバ本体を後方へ押し込みます。
3. M3 サラネジでしっかりと固定します。
   両側各 2 箇所を固定してください。



7 サーバ本体を後方へスライドさせて、ラックに搭載します。

スライドレール両側のロックを解除しながら、ゆっくりと後方へスライドさせて搭載します。

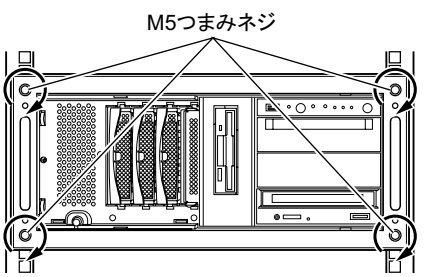




サーバ本体をスライドさせる場合や、元に戻す場合は、充分注意してください。指や衣服がはさまれて、けがをするおそれがあります。

8 サーバ本体とラックを固定します。

M5 つまみネジ 4 本で固定してください。



3 ラック搭載後の周辺装置接続について

サーバ本体をラックに搭載後、各種周辺装置を接続してください。ケーブル類を接続する際は、サーバ本体をラックから引き出して作業することを考慮し、余裕を持たせた配線にしてください。

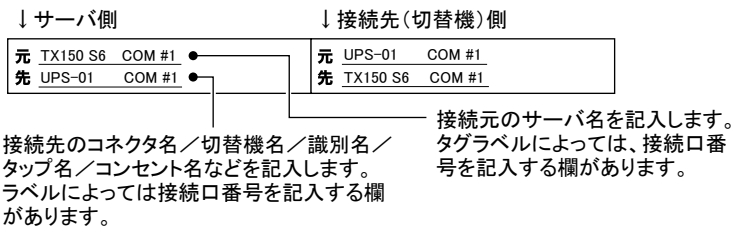
■各種ケーブルにタグラベルを貼り付ける

周辺装置の接続を行う前に、添付のタグラベルを各ケーブルに貼り付けます。タグラベルを貼り付けることによってケーブルの識別が容易になり、ケーブルの接続ミスなどの事故を防止できます。

●記入例

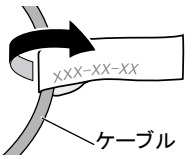
タグラベルは次のように記入し、ケーブル両側のコネクタに近い位置にそれぞれ1枚ずつ貼り付けます。

●記入例



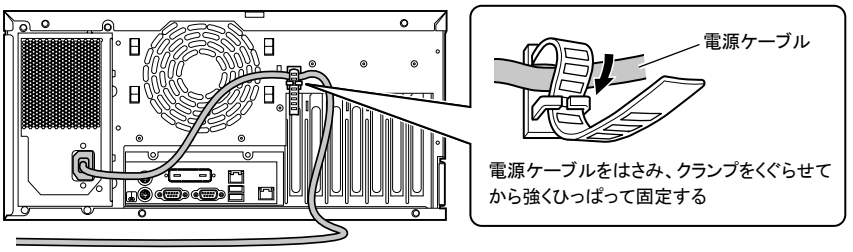
●貼り付け方

ケーブルのコネクタに近い位置に、タグラベルの中心からケーブルを巻きつけるように貼り合わせます。



■電源ケーブルの固定

電源ケーブルをサーバ本体に接続したあとは、サーバ本体を前面に引き出す際に電源ケーブルが抜け落ちることを防止するため、サーバ本体背面のクランプに下図のように電源ケーブルを通して固定してください。

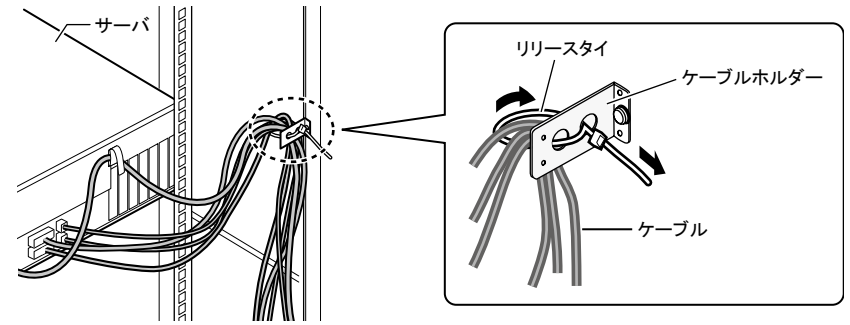


なお、電源ケーブルを抜くときは、必ず本体側の電源コネクタを抜くようにしてください。

■ケーブルのフォーミング処理

すべてのケーブルを接続後、ケーブルを種類または位置別に束ねて、ラック背面側のケーブルホルダーに、リリースタイで結びつけて固定してください。
これをフォーミング処理といい、ラックに複数のサーバが搭載されている場合でも、ケーブルの見分けが容易になります。

[ラック背面側]



Copyright FUJITSU LIMITED 2008